

研究・調査報告書

報告書番号	担当
495	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Alcohol and endometrial cancer risk in the NIH-AARP diet and health study. 栄養と健康に関する研究における飲酒と子宮内膜癌リスクの関連	
執筆者	
Yang HP, Gierach GL, Danforth KN, Sherman ME, Park Y, Wentzensen N, Hollenbeck A, Schatzkin A, Brinton LA.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Int J Cancer. 2011 Jun 15;128(12):2953-61.	
キーワード	
飲酒、子宮内膜癌、前向き研究	
要旨	
目的： 飲酒が子宮内膜癌リスクに与える影響に関する先行研究は大量飲酒との関連を検討したものは少ないが、その結果に一致を見ない。さらに、先行研究のほとんどがアルコール飲料の種別との関連、他の子宮内膜癌リスクとの相互関係や腫瘍の種類に関しての検討はなされていなかった。	
方法： このため本研究では飲酒と子宮内膜癌発症の関連について NIH-AARP 栄養と健康に関する研究に登録された 114,414 人の女性コホートのうち 51,491 について検討した。Cox 比例ハザードモデルを用いてハザード比(HR)とその 95%信頼区間(CI)を求めた。	
結果： 非飲酒者を基準として年齢、BMI、喫煙と他の交絡因子にて調整したところ 1 日 0~12 g 飲酒群の HR (95%CI) は 0.97 (0.87-1.09)、1 日 12~24 g 飲酒群で 1.06 (0.87-1.31)、1 日 24 g 以上飲酒群で 0.93 (0.71-1.20) (傾向 P=0.90)。しかし比較的痩身(BMI, <25)でホルモン補充療法を受けている女性でリスク増加傾向があり、これら両因子と飲酒のと間に相互関連があった(それぞれ P=0.002 および 0.005)。有意差はなかったがこの関連は低悪性度癌で顕著であった。	
結論： 本研究の結果は飲酒が子宮内膜癌の強力なリスクであることは支持しないが、ホルモン補充療法を受けている女性や一部の腫瘍種ではリスクが少し上昇する可能性を示唆した。	